

## 折立 文子 (ORITATE Fumiko)

主任研究員、博士 (農学)

- 2011 農研機構 農村工学研究所 資源循環工学研究領域
- 2016 農研機構 農村工学研究部門 地域資源工学研究領域
- 2018 農研機構 本部 企画調整部 研究戦略課  
農研機構 本部 経営戦略室 (組織改編により配置換)
- 2019 農研機構 本部 理事長室 (組織改編により名称変更)
- 2020 農研機構 農村工学研究部門 資源利用研究領域  
(旧・地域資源工学研究領域)

※2011年以前はバックナンバー第34号 (2013年1月)



## 研究者の横顔

### 〈バイオマス研究、メタン発酵と消化液の液肥利用〉

本コーナーに第34号 (2013年1月) 以来、2回目の登場となります、折立と申します。早いもので、バイオマス研究に従事して十数年になります。その間、国内外 (国外は主にベトナム、前回の本コーナーでも紹介) を対象に、メタン発酵消化液の液肥利用を中心として、資源循環に関する課題に取り組んできました。ここ数年は、メタン発酵消化液の畑地での利用促進を目的とした効果的な土中施用方法\*の検討、農業集落排水施設で発生する汚泥と地域で発生するバイオマス (生ごみや食品廃棄物等) を安定的に混合メタン発酵する条件の検討、ベトナム独自の堆肥化方式をふまえたより良い堆肥化方式を提案することを目的とした共同研究への参画等、他分野や他機関、他業種の方々と連携しながら、日々、勉強しつつ研究に取り組んでいます。

\*…消化液を土壌中に施用する方法、表面施用に比べてアンモニア揮散の抑制や多量施用が可能

### 〈2年間の本部勤務〉

2018年から2年間、研究現場を離れ、農研機構本部勤務となりました。この間、組織改編があり、企画調整部研究戦略課から経営戦略室 (後に理事長室に改名) へと所属が変わりました。研究戦略課では、研究関連会議の開催等の研究支援業務の他、農研機構におけるSDGs推進のための情報収集・整理およびこれらに関する農研機構の取組みの外部への発信等に従事しました。また、理事長室では、理事長関連の諸々の業務の支援に従事しました。いずれの部署でも、業務を円滑に進めていくためには、他の様々な部署の方々と緊密な連携を図っていくことが重要で、2年間の本部勤務で学んだ業務への取り組み姿勢を今後の研究活動にも活かしていければと思っています。

### 〈仕事の合間のリフレッシュ〉

前回の本コーナーで紹介した、ベトナム (ハノイ) 一人旅を皮切りに、夏休み海外一人旅が毎年の恒例行事となりました。行先は主に東南アジア、現地発のツアーやガイド (知人の案内含む) も取り入れながら5~6日間程度の行程を作成し、ベトナム (サパ、ダラット、ホイアン)、スリランカ、カンボジア、ミャンマー…と異国の空の下を思う存分歩き回ってきました。現地でしか出会えない景色や人々、食べ物はもちろん、ちょっとしたハプニングも全て一人旅の醍醐味で、無事、成田空港に降り立った時の充実感・達成感は何にも代え難いものがあります。コロナ禍の3年間、夏休みシリーズはお休みでしたが、さあ、次はどこに行こうかな…と考え始めているところです。